

【Basic I】

筆記試験 <理論> 例題集 ①

(60分)

I. 次の楽譜を見て、各問に答えなさい。

The musical score is in G minor (one flat) and 4/4 time. It consists of two systems of piano accompaniment. The first system contains five measures: Measure 1 (Fmaj7), Measure 2 (Dm7), Measure 3 (circled 1), Measure 4 (circled 2), and Measure 5 (circled 3). The second system contains four measures: Measure 6 (Dm7), Measure 7 (circled 4), Measure 8 (circled 5), and Measure 9 (C7sus4 and C7). Brackets labeled A, B, and C indicate intervals between notes in measures 3, 5, and 9 respectively.

1. ①～⑤のコード・ネームを書きなさい。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

2. A～Cの2音間の音程を答えなさい。

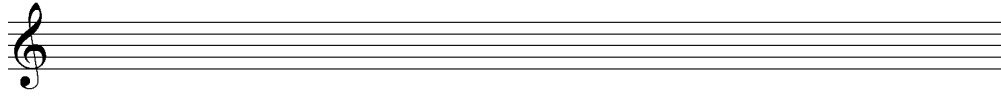
A _____ B _____ C _____

●コード判別と音程に関する問題です。Basic I では基本的な種類のコードについて、構成音からコード・ネームを判別できることが必要です。

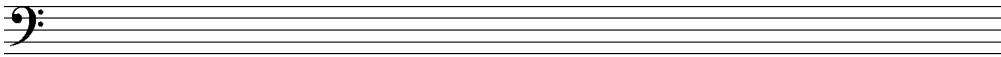
(正解) 1. ① Gm7 ② C7 ③ Fmaj7 ④ Am7 ⑤ B^b maj7 2. A.完全4度 B.長3度 C.完全5度

II. 下記に指定されたスケールを、調号をつけずに（臨時記号を使用して）書きなさい。

(1) A^b major（長音階）

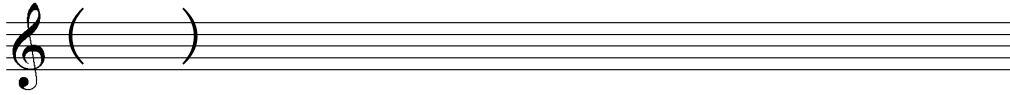


(2) B natural minor（自然短音階）

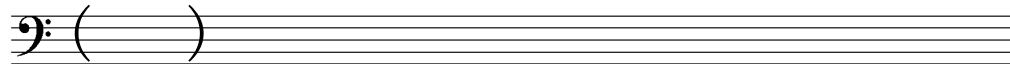


III. 下記に指定されたスケールを、調号をつけて書きなさい。

(1) G harmonic minor（和声短音階）



(2) E melodic minor（旋律短音階）<上行形のみ>

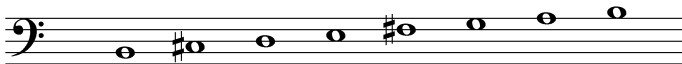


● 音階を記譜する問題です。3つの短音階の種類を把握しておくことと、音部記号にも注意しましょう。

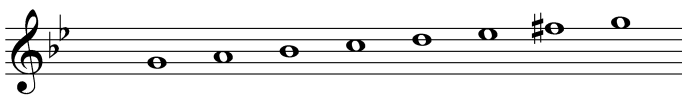
(正解) II.(1)



(2)



III.(1)



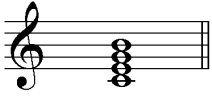
(2)



IV. 例にならって、次のコード・ネームの和音の基本形を書きなさい。

(例)

Cmaj7



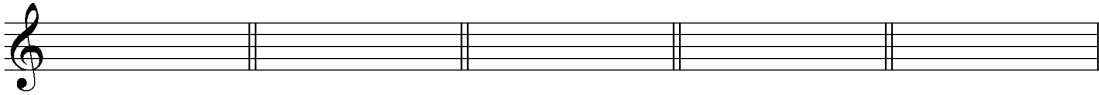
Gm

D

B \flat 7

F \sharp

Bm7



●コードの構成音を問う問題です。各種類のトライアドおよびフォー・ノーツ・コードについて、コード・ネームからの音符を組み立て方を理解しておきましょう。

(正解)

Gm

D

B \flat 7

F \sharp

Bm7



V. コード進行を分析した次の表の空欄に、適切な度数または機能を記入しなさい。

(コードの機能:T=Tonic, S=Subdominant, D=Dominant)

(1) Key : F major

コード	Fmaj7	B ^b maj7	Am7	Dm7	Gm7	
度数	I maj7	()	III m7	()	II m7	~
機能	T	S	()	T	()	

(2) Key : A major

コード	A maj7	E7	F [#] m7	C [#] m7	B m7	
度数	I maj7	()	VI m7	()	()	~
機能	T	D	()	T	()	

(3) Key : E^b major

コード	A ^b maj7	Gm7	Fm7	B ^b 7	E ^b maj7	
度数	IV maj7	()	()	V 7	()	~
機能	()	T	S	()	T	

●ダイアトニック・コードの機能、度数に関する問題です。各メジャー・キーにおいて、7つのダイアトニック・コードのコードネームと機能を正しく導き出せるようにしておきましょう。

(正解) (1) Key : F major

コード	Fmaj7	B ^b maj7	Am7	Dm7	Gm7	
度数	I maj7	(IV maj7)	III m7	(VI m7)	II m7	~
機能	T	S	(T)	T	(S)	

(2) Key : A major

コード	A maj7	E7	F [#] m7	C [#] m7	B m7	
度数	I maj7	(V 7)	VI m7	(III m7)	(II m7)	~
機能	T	D	(T)	T	(S)	

(3) Key : E^b major

コード	A ^b maj7	Gm7	Fm7	B ^b 7	E ^b maj7	
度数	IV maj7	(III m7)	(II m7)	V 7	(I maj7)	~
機能	(S)	T	S	(D)	T	

VI. 下記のケーデンス（終止形）の種類として適切なものを、 内から選んで番号で答えなさい。

(1) Key : G major

| Gmaj7 | Cmaj7 | Gmaj7 || ()

(2) Key : E major

| Emaj7 | Am7 | Emaj7 || ()

(3) Key : B^b major

| B^bmaj7 | E^bmaj7 | F7 | B^bmaj7 || ()

- | | | |
|------------------------|------------------|-----------------------|
| 1. ドミナント・ケーデンス | 2. サブドミナント・ケーデンス | 3. サブドミナント・マイナー・ケーデンス |
| 4. サブドミナント-ドミナント・ケーデンス | 5. トゥー・ファイブ | 6. 1～5以外のケーデンス |

●コード進行（ケーデンス／終止形）についての問題です。『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 1』第3章 VI(43～46ページ)に記載されている代表的なケーデンスの種類とその意味を理解した上で、各キーにおけるコード進行を分析することが求められます。

(正解) (1) 2 (2) 3 (3) 4

VII. 次の文章の () にあてはまる語句、数字、または記号を語群から選んで番号で答えなさい。

- (1) E^bとD[#]などのように、楽譜上では異なる音でも、実際に演奏する音は同じであるものを()という。
- (2) メジャー・スケールの第()音を主音としたスケールがナチュラル・マイナー・スケールであり、さらに、ナチュラル・マイナー・スケールの第()音を半音上げたスケールをハーモニック・マイナー・スケールという。
- (3) ダイアトニック・コードとは、ダイアトニック・スケール上の各音の上に、スケール上の音を()度間隔で積み重ねてできるコードをいう。
- (4) ドミナント・セブンス・コードの3度と^b7度の間にできる()度の音程を、「トライトーン」という。
- (5) I maj7、IVmaj7、V7といった主要和音に対し、III^m7、II^m7、VII^m7(^b5)などのように、主要和音と似た構成音を持ち、主要和音と同じ機能を持つコードを()コードという。

(語群) ① エンハーモニック ② 協和音 ③ トライアド ④ ノン・ダイアトニック ⑤ 代理
⑥ 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 6 ⑩ 7 ⑪ 完全4 ⑫ 減5 ⑬ 完全5

●楽典や、音楽理論に関する用語の問題です。Basic I では、『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 1』と『ピアノ・パフォーマンス 1』の範囲から出題されますので、これらに出てくる用語をよく理解しておきましょう。

(正解) (1) ① (2) ⑨、⑩ (3) ⑧ (4) ⑫ (5) ⑤